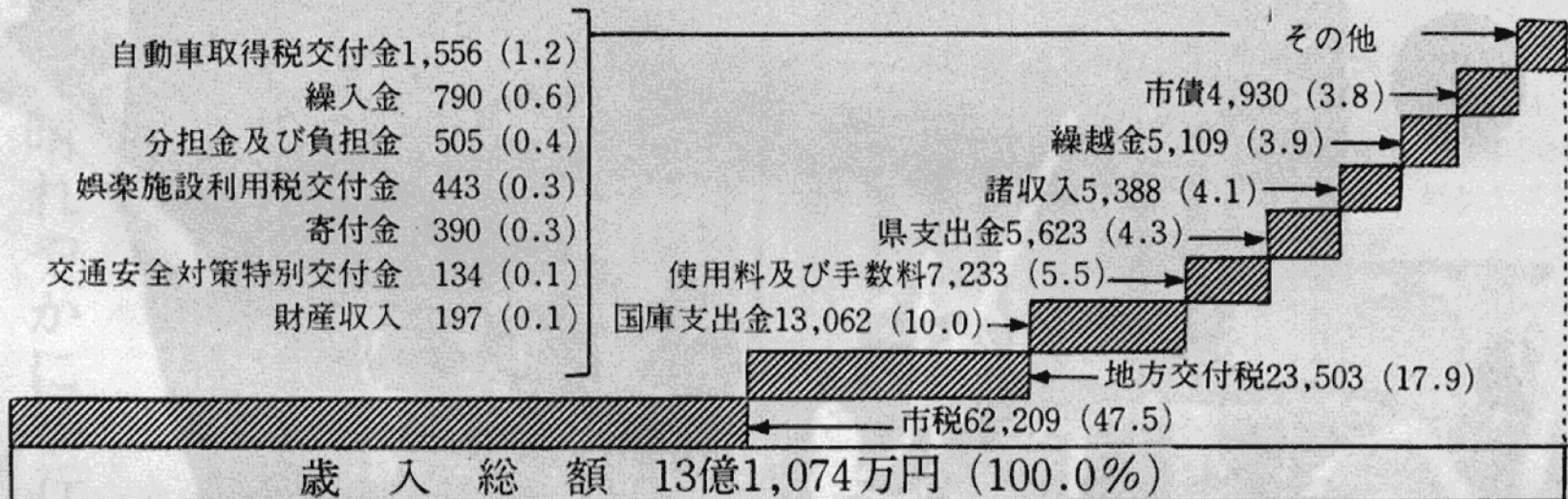


歳入13億円台に(一般会計) 昭和46年度会計決算

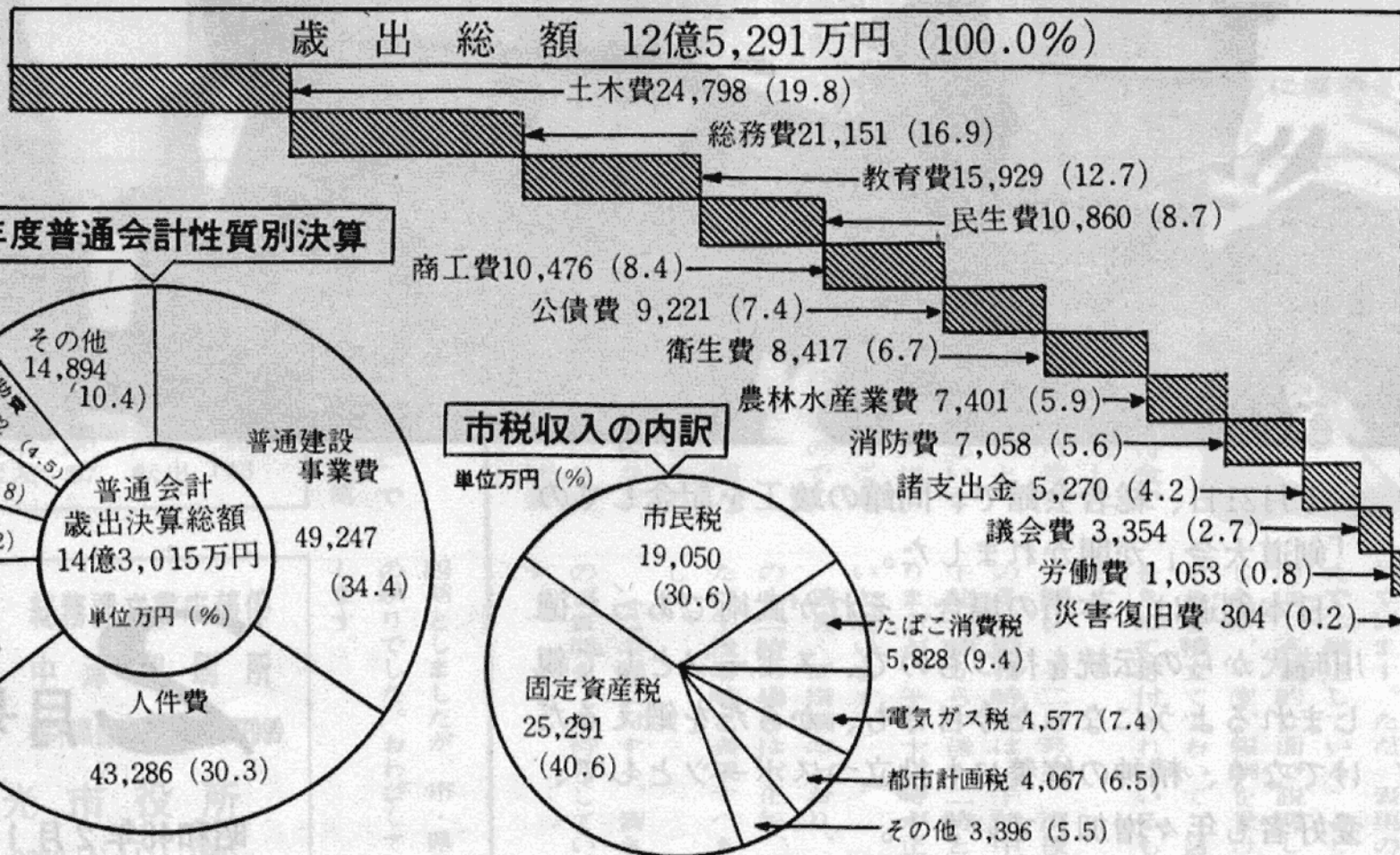
昭和46年度の市会計の決算が昨年12月の定例市議会で認定されたことについては、先月号でお知らせしましたが、そのおもな内容について今月号に掲載しました。

グラフのように、一般会計の歳入額は、13億円を越えましたが、歳入総額に占める市税の割合が、市制以来、初めて50%を割りました。

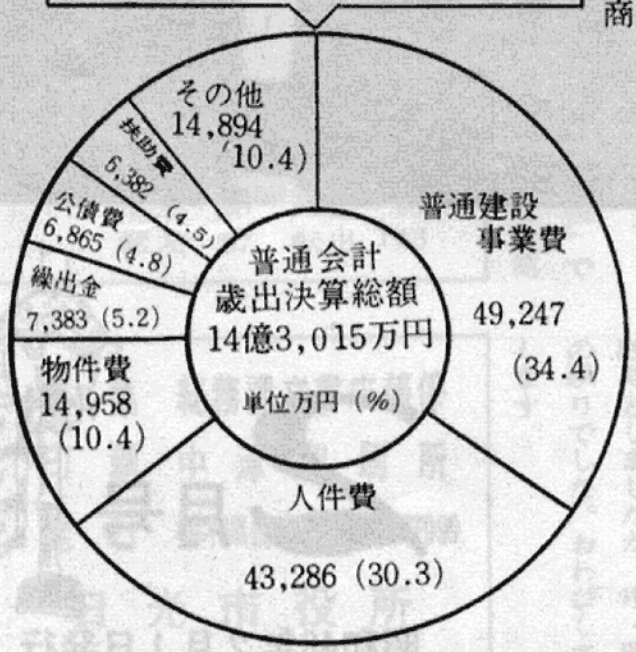
歳出では、都市計画事業の増大により土木費がトップを占め、老人医療費や生活保護費の増額で、民生費が1億円台の支出となりました。



昭和46年度一般会計費目別決算内訳 (千円以下4捨5入)



46年度普通会計性質別決算



市税収入の内訳

